

海外安全対策情報（２０２０年１月～３月）

1. 治安情勢

（１）ブリスベン及びゴールドコースト地区

窃盗、薬物事犯等の犯罪発生率は日本と比較すると依然として極めて高く、邦人を被害者とする各種事案も散発している。また、少年犯罪が深刻化している。

（２）ケアンズ地区

ケアンズ市、タウンズビル市及びその近郊は州内においても犯罪率が高い地域であり、警察官の増員やパトロール強化等の治安改善努力が行われている。

2. 一般犯罪の傾向

（１）ブリスベン及びゴールドコースト地区

ア 旅券の盗難等が発生している。

イ 夜間の徒歩通行中に襲撃され、金品を強取される事案が発生している。

（２）ケアンズ地区

ケアンズ市及びその近郊では、邦人が被害者となる窃盗等が散見される。外出時や就寝時等に被害に遭遇しやすいので、家屋又はホテルの部屋のドア、ベランダ出入り口及び窓等については確実に施錠する。また、飲食店や公園などでの置き引き被害にも注意を要する。

3. 殺人、強盗等凶悪犯罪の事例

（１）２０１８年１２月１８日午後９時５０分頃、邦人男性及び友人が、帰宅のためサウスブリスベンのマスグレイブ公園を歩行中、複数の少年が同友人の顔を棒状の物で殴打し、カメラを奪って逃走。更に少年らは、午後１０時１５分頃、同公園を自転車で走行中の男性の背中を鋭利な物で刺し、財布及び携帯を奪おうとした。本件以外にも夜の公園や歓楽街等では暴行、窃盗、薬物関連事件等が度々発生していることから、十分注意する必要がある。

（２）２０１６年７月の深夜、ケアンズ・セントラル・ショッピングセンター付近で、邦人女性が男に襲われ、顔を殴られた上に羽交い締めされたところを通行人に助けられるという事件が発生した。男は、その事件の数時間前にも同じ場所で韓国人女性に対して性的暴行を行っていた。夜間に照明の少ない場所を徒歩や自転車で通行することは控える必要がある。

4. テロ・爆弾事件発生状況

（１）現在、具体的なテロの脅威を示す情報の把握はないが、メルボルンやシドニー在住の男がテロを計画していたとして逮捕される事件が発生しており、最新情報の入手等に努める必要がある。

（２）豪州政府のテロ警戒レベルは、引続き５段階中上から３番目のprobable（起

こりそうである）とされているため、日頃から報道等を通じてテロ関連情報の収集に努めるとともに、周囲に不審な状況がないか注意し、万が一不審者、不審物を発見した場合には、不用意に近づかず、警察への通報を行う。

5. 誘拐、脅迫事件発生状況

邦人が関係する事案は発生していない。

6. 対日感情

- (1) 一般的な対日感情は概ね良好であり、現在までのところ、日本人や日本企業の安全に対する脅威となり得る具体的な動きは特段認められないが、日本による国際捕鯨委員会の脱退に対する抗議や、イルカ漁、環境問題、歴史認識等を捉えた抗議活動の動向には注意を払う必要がある。
- (2) 新型コロナウイルスを原因として、アジア系市民に対する差別行為や嫌がらせが発生している。また、少数ではあるが、在留邦人から大使館や総領事館に新型コロナウイルス関連の差別被害や嫌がらせに遭ったとの報告もある。万が一被害に遭った場合は、自らの身の安全を確保することを最優先とし、急いでその場を立ち去ると共に、被害に遭った際は、下記リンク先を参考として、必要に応じて通報等を行う。

参考：当館HP「差別行為や嫌がらせの発生」

https://www.brisbane.au.emb-japan.go.jp/downloads/cvirus23042020_2.pdf

7 その他

- (1) アパート契約をめぐる詐欺行為やシェアハウスのボンドに関するトラブルも散見される。
- (2) 求人広告等に掲載されている仕事の中には違法な仕事である場合や、労働条件・待遇が違法である場合もあることから、仕事を始める前に内容等を良く確認のうえ、違法行為に巻き込まれることのないよう注意が必要。

参考：当館HP「ワーキングホリデー査証で渡航される皆様へ」

<https://www.brisbane.au.emb-japan.go.jp/downloads/waahori13122019.pdf>